

新しい農業委員きまる

7月5日に告示された農業委員の選挙は、7月8日に立候補のしめ切したところ、定数をこえた選挙区が上川沿地区など4地区あって、7月15日にそれぞれ選挙が行なわれました。選挙による当選者および無競争によって農業委員になられた方々はつぎのとおりですが、ここで、農業委員会ではどんな仕事をするとおられるかについて、若干ふれてみます。

農業委員会とは

農業生産力の発展および農業経営の合理化をはかり、農民の地位の向上に役立てることを目的としながら、具体的には、農地法による農地の統制事務（農地の転用許可、小作料統制、農地の分合）を行なっている、重要な機関です。

この委員会の構成は、選挙による委員20名、農協および農業共済組合から推せんされた理事1名、学識経験者で市長が選任する者5名以内となっています。

(新しい農業委員の皆さん)

※印の地区は選挙によって選出された方々です

大館	—	榎庭玄之松	伊藤 忠治	
釈迦内	—	菅原米太郎	島山 一志	日景助次
長木	—	工藤宇吉郎	石垣 輝光	
※上川沿	—	金子 良悦	田中 正夫	
※下川沿	—	鎌田孫太郎	安部 栄吉	
真中	—	虻川 誠夫	富樫 広信	
※二井田	—	芳賀 繁一	一関 孝一	
十二所	—	黒田 一郎	佐々木 善信	島山定真
※花矢	—	石代 博	笹島 信男	
市議会選出	—	島山 耕英	小坂 秋蔵	伊藤悦二
農業団体選出	—	農協	戸田 竹雄	成田幸一
	—	農業共済	羽柴 誠一	

議会の活動

(44.6.20~44.7.15)

○特別委員会

6月20日 去る6月14日開会されました6月議会定例会で可決された事件は、前号でお知らせしたとおりであります。6月20日の農終本会議において、次の特別委員会を設置、本会議閉会後開かれた特別委員会において、それぞれ正副委員長が互選されました。

(1)公営対策特別委員会

委員長 成田 幸一
副委員長 石戸谷 敏吉

(2)市民交通対策特別委員会

委員長 柳館 邦男
副委員長 佐々木 正治

○教育産業常任委員会

6月30日 付託された陳情2件（農協合併、食管制度堅持等）は、次回に継続審査することとしたほか、圃場整備事業について花矢地区の現地調査をしました。

7月8日 付託された請願第5号（花岡小施設改善）関係の現地調査をしたほか、城南小学校改築事業についての説明を聞きました。

○建設水道常任委員会

7月5日 付託された陳情4件（別所土地改良区関係谷地町、小館町、山神台町地区の道路整備）は、次回に継続審査することとしたほか御成町火災復興事業等についての説明を聞きました。

○市民交通対策特別委員会

7月7日 付託された「市民の交通確保に関する調査と対策」について、現時点における問題点と基本的な調査事項について協議しました

○公営対策特別委員会

7月10日 付託された「公営館に関する調査と対策」について、現時点における問題点と基本的な調査事項について協議しました。

沼館橋で喜びの完成式

待望の沼館橋が完成し、7月17日の午後から現地、部落主催による開通式が行なわれました。

こんど開通した沼館橋は、43年1月15日に着工し、総工事費2,267万円を投じて今年の3月31日に完成したものです。

17日に行なわれた開通式は、残されていた取付道路の完成を待って行なわれたものですが、開通式には部落関係者をはじめ、ご婦人がた子どもたちなど部落をあげて参列し、完成の喜びを分かち合っていました。

〈沼館橋の工事概要〉

延長 80m・幅巾 4.5m
上部工 PC桁4面
下部工 橋台2基・橋脚3基



〈夏の交通安全運動〉

過労運転による事故を防ごう

過労運転は、しばしば居眠運転となりやすいのですがその主な特徴は

- ①中央分離帯を突破して対向車と正面衝突する。
- ②道路沿いの商店にとびこんだり、歩行者をはねる。
- ③防護柵、電柱、駐車中の車両に衝突する。

などで、このため大きな人身事故が起っています。夏はからだの疲労がとりわけ激しいので、暑さが増してくる8月には、こうした危険な運転方法による人身事故の増加が心配されます。

そこで、疲労しているときの見分け方や、疲労を防ぐために、運転者はつぎのことを注意してください。

疲労の兆候

〈精神的なものでは〉

①頭がボンヤリする②イライラする③なんにもする気がなくなる。

〈神経的なものでは〉

①眼がつかれる②動作がぶくなる③外界の刺激に対する反応がおそくなる。

〈身体的なものでは〉

①頭が重い②足が重い③身体が抜けたようになる。などの兆候が現われますので、こうした状況のもとでは、車を運転しないよう、とくに注意するよう努めなければなりません。



「子どもの頃、遠足で歩いた道、友だちと汗を拭きながら登ったあの山、そつと小石をよせて、カジカを捕えた清流……云々あの清浄な広野、郷土の四季には尽きぬ思い出がある……私たちは、豊かなふるさとを自然豊かたずねることを、忘れてはいないだろうか……」

これは石川市長のことばですが、この考えにたよって市が選んだハイキングコースを過去2回の広報紙で紹介したところ花岡中学校などから多くの問い合わせが寄せられ、いまから好評を得ています

紹介した16のコースはそれぞれ趣の異なったコースばかりです。まず、あなたの好きなコースから順にハイキングを試みてはいかがでしょうか。

そして、あなたが歩いたコースの感想文を係にお寄せ下さいれば幸いに思います。

たずねよう

新しい町内が誕生

7月1日に新しい町内がまた誕生しました。この新町内の設立で、市の行政町内数は223町内になります。また、これらの町内にはあわせて231名の行政協力員が委嘱され、市役所から市民の皆さんにお伝えすることがらを、いろいろとお手伝いしていただいております

新町内名	行政協力員	世帯数
仲見世	川口 富治	5 0
代野団地1区	畑田 直三	9 3
代野団地2区	佐藤 信一	8 0
代野団地3区	成田 富義	7 5

〈行政協力員〉

永年勤続者14氏を表彰

7月14日、市民体育館で全市の行政協力員協議会（協力員数231名）が開かれました。

この会議には、石川市長はじめ市議会議長、助役、収入役、各課長が出席し、各地区からだされた道路や子どもの遊び場などの問題について話しあいをし、市の考え方を理解していただきました。

席上、永い間市の仕事にたずさわってくださった方々に市長から感謝状が贈られ、協議会はなごやかに終わりました。

永年勤続の表彰を受けた方々

▼10年表彰

相染町……根本 勇夫 御成町2丁目……工藤 正治
獅子ガ森2区山内 久吉 川口2区……小林清一郎
大道下……古家 周三 沢 尻……斎藤 常世

▼20年表彰

通 町……武田 金吉 御坂……斎藤 稔
常盤木町……樺田利壽司 向羽立……伊藤 胤雄
中 通……木村 弘一 長 面……佐々木半二郎
長面袋……上村 清利 松木1区……佐藤 喜作